

(仮称) 遠野風力発電事業計画段階環境配慮書に対する意見書

2017年9月9日

アカシア・リニューアブルズ株式会社

担当 御手洗 久子 様

1 縦覧、説明会について

(仮称) 遠野風力発電事業の計画段階環境配慮書の縦覧がされました。しかし、私たちのような一般人が、この膨大な資料を読み解くことは困難です。持ち帰れる「概略を説明する資料」もありませんでした。電子縦覧もされているが期間を過ぎるとみることができません。

住民説明会で渡された資料は内容が貧弱で知りたいことが分かりません。多くの人が参加、理解できるよう、縦覧・説明会の周知・資料の改善をはかること。

以下のことを方法書で明らかにされるようお願いします。

2 地域メリットについて

地元雇用について、地域経済の発展について具体的に示すこと。

3 工事について

基礎工事・道路工事の規模、残土処理を記載すること。

4 水源保護について

大規模な自然破壊を伴い異常気象、雨が心配である。土石流の不安が解消されません。多くの住民が沢水・井戸水を使用しております。水源保安林を含んでおり、水質・流量、井戸水、水源が確保されるのか、水道水等へ影響、不慮の事故の対応を明らかにすること。

5 超低周波・低周波・騒音、風車の影による被害対応について

事業実施想定区域内には87戸の住居及び三和中学校、いわき市三和ふれあいデイサービスセンターが存在し、2km以内に644戸の住居があります。超低周波・騒音等は3kmより遠くの住民にも被害をもたらしており、3km以内には建設すべきではありません。発電機から500m以内、1km以内、2km以内、3km以内の人家戸数を明らかにすること。

既建設地の被害の実例を示し説明すること。また、被害が発生した場合の対応を示すこと。

6 動物への影響について

養鶏・畜産への影響を示すこと。原発事故以来イノシシが増えています。イノシシが風力発電により凶暴化し人的被害もあるとの報告もあり対応を明らかにすること。

7 有効な発電はできるのか

自然エネルギーとしての風力発電がどの位役立つのか、役立たないのか判断のしようがありません。年平均でなく、春夏秋冬と8月の13~16時の風況と、発電量予想、どのくらいの温室ガス削減になるのかを明らかにして下さい。

8 安全対策について

落雷や強風、積雪凍結等による風力発電機の破損・倒壊事・火災故が発生しており、近年、気候変動による土砂災害が増加する傾向にあることから、安全対策や万が一事故が発生した場合の復旧方法を具体的に示すこと。

9 景観、自然との触れ合いの場について

「住民の生活領域における各風力発電機の垂直見込角ができるだけ、2度を超えることのないように、風力発電機の配置を計画すること」とされていますがここで言う垂直見込角は鉄塔の基準です。鉄塔と風力発電機では見え方が大きく違います。

茨城県「自然公園における風力発電施設の新築および増築に関わる許可措置命令指導指針」における「視野角 1 度未満」「視野占有率 0.02%未満」を準用すべきです。

工事対象山域のうち、往生山は県内外の市民に親しまれている登山コースがあり、いわき市の聖地スポットとしても注目されています。主要な眺望点及び景観資源並びに主要な景観資源に往生山、及び住民が生活している居住地を加えること。

景観破壊・自然破壊・登山道破壊となるこの山域への大規模風力発電設置は、当会は反対です。

10 管理会社及び事業終了後について

維持管理の職員数は何人を当てる予定でしょうか。故障、事故等で使用できない場合や風力発電耐用年数 20 年経過後、会社の倒産又は清算後は管理人がいなくなり、放置されてしまうリスクがあります。

事業終了後は原状復帰すると説明されましたが、原状復帰の中味を明らかにすること。

11 他風力発電との複合的影響について

この計画では三大明神風力発電事業と近接、馬揚山風力発電事業一部重複しており、その複合の影響について明らかにすること。

12 総合的な意見

計画が具体的でなく、住民が可否を判断できる材料が足りません。事業者は住民が判断できる正しい情報を示すこと。

地元へのメリットは全くなく、我慢と犠牲が強いられ、事業終了の 20 年後、残るのは廃物となった施設と自然破壊のみとなることを危惧します。

福島県の集計でも登山など自然を体感できる地域を訪れる観光客は増加しており、この計画は「山の資源を生かし観光交流人口を増やそう」と努力しているいわき市の施策とも矛盾するものです。水源地域でもあり、この地域に風力発電は建設すべきではありません。

以 上

(仮称) 馬揚山風力発電事業

JR東日本エネルギー開発

約 2,000 kW～3,600 kW×10～18＝総出力 36,000 kW

ローター系 80～108m ハブ高 74.5m～94m

発電機の高さ 118m～148m

平成 32 年着工 34 年運転開始

* 馬揚山風力発電県境影響評価方法書に対する意見書は、内容が似通っているので省略します。